



熊本市 感染症発生動向調査 速報



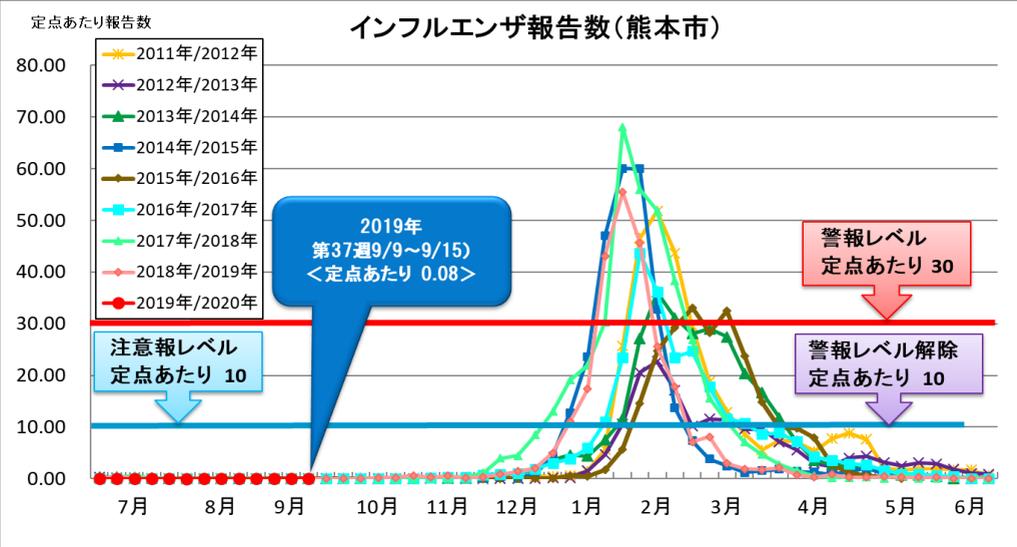
10月から高齢者などのインフルエンザの予防接種の費用助成がはじまります。例年本格的な流行は12月ぐらいからですが、全国では、現時点で昨年と同じ時期の約10倍の報告があり、今年は早くからインフルエンザが流行する恐れがあります。また、全国的に大きなイベントも多数行われるため、参加国を中心とする海外の国や地域から、観戦を目的とする訪日客の増加、試合会場やキャンプ地周辺への人の往来の増加が見込まれます。そのため、インフルエンザに限らず、麻疹・風しんなど感染症の流行や、国内ではまだ報告されていない感染症が発生する可能性があります。今まで以上に、感染症予防に努めましょう。

●インフルエンザについて

インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症です。一般の「かぜ症候群」と比べて全身症状が強く出やすいことと、重症化しやすいことから注意が必要です。

インフルエンザの予防対策

- ★流行前の**ワクチン接種**。
- ★飛沫感染対策としての**咳エチケット**。
- ★**手洗い**の徹底。
- ★適度な湿度の保持。
- ★十分な休養とバランスのとれた栄養摂取。
- ★人混みや繁華街への外出を控える。



期 間		2019年 36週		2019年 37週	
		9/2~9/8		9/9~9/15 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	2	0.08
RSウイルス感染症 ⚠	➡	66	4.13	80	5.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	16	1.00	22	1.38
感染性胃腸炎 ⚠	➡	55	3.44	52	3.25
水痘(みずぼうそう)	➡	0	0.00	2	0.13
手足口病	➡	29	1.81	37	2.31
伝染性紅斑(りんご病) ⚠	➡	9	0.56	7	0.44
突発性発しん	➡	10	0.63	11	0.69
ヘルパンギーナ	➡	30	1.88	23	1.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目) ⚠	➡	25	5.00	26	5.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00